園だより1月

<mark>起きよ、光を放て。</mark>あなたを照らす光は昇り 主の栄光はあなた**の**上に耀く。 イザヤ書 60 章 1 節

<mark>「えがおあ</mark>ふれる いちねんになり<mark>ま</mark>すように」

新しい年が穏やかに明けました。6日は東京 YMCA 全体の職員新年礼拝が守られました。その礼拝メッセージから新しい年を過ごす指標を与えて頂きました。メッセージで頂いた「一隅を照らす」というお言葉。これは天台宗を開いた最澄の言葉です。あなたが、あなたの置かれている場所や立ち位置で、自分の持てる力を注ぎ活かし照らしていく、まさに、「主体的に生きる」ということではないでしょうか。一人ひとりがその想いを大切に照らしたなら、その小さな光が集まって、世の中を照らします。照らされた未来は平和に発展していくことでしょう。

私たちはクリスマス礼拝で、神様が私たちに光として大切な御子イエスさまをこの世に贈ってくださったことを喜びました。アドヴェントクランツに光を灯しながら、一人ひとりの心にも光を灯し、それぞれの心に今温かな光が輝いています。幼稚園から卒園する年長さんたちに贈る聖書の言葉は「光の子として歩みなさい」(エフェソ信徒への手紙5章8節)です。それぞれが光となりその場を温かく照らす、どんなに小さな光でも沢山の光が集まれば大きな光となりみんなの幸せに繋がるのです。一隅を照らしながら過ごすことの意味を心深く留めました。

今日から始まる三学期。子どもたち一人ひとりが今の自分の場所や立ち位置で光を輝かせ照らす、それをお互い大切に過ごし続ける園生活であることを願います。そしてその営まれる生活により、それぞれに様々な育みが更に成され、主体的に生きていくことを。私たち保育者は、その子らしく輝き照らしていけるよう、今学期も寄り添い支えて参ります。そして自らも子どもたちと共に輝き照らし続けることを大切に過ごして行きたいと思います。他国では争いが大きくなりそうな気配の感じられるニュースが報じられています。どうか穏やかに明けた新しい年がずっと続きます様にと祈ります。

笑顔溢れる新しい年、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

園長 駿河 幸子